

県の保健・医療・介護施策の企画立案、事業推進に取り組む**公衆衛生医師**を募集しています

公衆衛生医師の使命は、地域住民の健康の増進に努めることです。

- ① がん、生活習慣病の予防などの健康づくり
- ② 自殺やうつ病、アルコール依存症などこころの健康づくり
- ③ 感染症や食中毒の予防、薬物乱用などによる健康被害の防止
- ④ 小児、周産期、救急医療などの医療提供体制の整備や在宅医療の推進

などの施策の企画立案・事業の推進を通じて、社会のために貢献したいという熱意にあふれる皆さんをお待ちしています。

勤務場所

福岡県保健医療介護部本庁、保健福祉（環境）事務所、保健環境研究所など

勤務時間・休暇

- ・ 1日7時間45分勤務（原則8時30分～17時15分）
- ・ 土・日・祝日及び年末年始（12月29日～1月3日）は休み（緊急時は時間外勤務・休日出勤あり）
- ・ 年次休暇は、1暦年ごとに20日（4月採用のときは最初の年は15日）、最大20日まで翌年に繰り越し可。
- ・ 特別休暇（夏季、結婚、産前産後、子育て支援、長期勤務、忌引きなど）、病気休暇の制度あり

年収

【採用時】約731万円

【採用後10年目】約1,066万円

※大学を卒業して医師免許を取得し、臨床研修（2年間）修了後、直ちに県に採用された場合

研修制度

公衆衛生活動の事例検討会、大学医学部や医療機関等での基礎研修（年間50日、3年間）、専門研修（週1日以内）、国立保健医療科学院での研修など
社会医学系専門医研修プログラムもあり、専門医の取得も可

- 公衆衛生医師の詳しい業務内容について質問がございましたら、現在、福岡県職員として働いている医師が、電話やEメールにてお答えします。
- 保健医療介護部本庁や各地域の保健福祉（環境）事務所などで、公衆衛生医師が実際に活躍している職場を見学することもできます。

ご希望の方は、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先

福岡県保健医療介護部 保健医療介護総務課総務係

電話番号 092-643-3237（直通）

メールアドレス hosomu@pref.fukuoka.lg.jp

応募方法、応募条件など、詳しくは
県のホームページをご覧ください

公衆衛生医師 福岡県 🔍

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/ishisaiyo.html>



KENK FUKU KA

先輩医師からのメッセージ

白石 博 昭

【保健医療介護部 部長】

この募集案内をご覧いただき、公衆衛生を担う医師についてご理解いただけたでしょうか。

仕事の内容、勤務場所・条件や研修制度などについては、ある程度ご理解いただけたと思います。自分には何が求められているのか、この仕事は自分に向いた仕事なのか、こういった点についてはいかがでしたでしょうか。「先生」と呼ばれず「アイデンティティーショック」を受けたり、「医師の指示」では物事が進まない現実から「リアリティーショック」を受けたりして辞められる方もいますが、公衆衛生を担う医師には、技術職員をはじめとした行政職員や関係機関・団体などと調整を図り、地域の健康課題に対して解決の仕組みを作っていくことが、特に大切なこととして求められています。社会のために貢献したい、皆の協力を取り付けながら仕事を進めるのが苦にならない、丁寧に粘り強く仕事に取り組める、そんな熱意や姿勢をお持ちの方には向いた仕事です。この募集案内をご覧いただいたあなたと、一緒に仕事ができるのを心待ちにしています。

佐 野 正

【保健医療介護部 医監】

福岡県には、行政医師として、現在20名以上の医師がいます。内科、外科、小児科、産婦人科等、臨床医として数年間従事したのち入った医師や臨床研修を終えてすぐ入った医師など様々で、年齢も20代から60代まで幅広いです。このような多様で多くの医師がいることで、充実し、かつ豊富な研修を行うことができ、また日々の業務で疑問に思ったことを気軽に相談できる同職種の仲間が多くいることが福岡県の行政医師の強みです。

医療機関完結型から地域完結型の医療へと、医療そのものや医療を取り巻く環境もこの数年で大きく変わってきました。そのなかで、医師としての専門性に加え、地域医療をマネジメントする力、関係者間をコーディネートする力、リーダーシップが求められる行政医師の役割は益々大きくなってきています。もちろんこれらは、初めから持ち合わせるものではなく、経験して獲得していくものです。医師として、また人生のキャリアアップのため、これまでと違う新たな世界にチャレンジしてみませんか。

加 藤 千 鈴

【京築保健福祉環境事務所 保健監】

県民の皆さんの一人ひとりの健康を守るのが臨床医、地域全体の健康を守るのが公衆衛生医師です。

今、新型コロナウイルス感染症が猛威をふるっています。地域を守るために、陽性者の方を適切に医療・療養につなげ、感染の拡大をできる限り抑え込まなければなりません。私達は、直接陽性者やその接触者への対応を行う一方で、地域の現状を分析し、地域の医療機関や医師会、市町村などの関係者と、課題を共有しながら地域の体制を少しずつ作りあげていく、という仕事をしています。大変ですが、やりがいがある仕事です。

是非、皆さんもその仲間に加わっていただきたいと思います。

新 島 奈 津 子

【田川保健福祉事務所 技術主査】

私は12年間臨床医として勤務した後、福岡県の行政医師になりました。現在3年目です。入職のきっかけは複数ありますが、それらが重なったことで現在の仕事に巡り合いました。臨床と行政の仕事の違いは、ご想像と大差は無いと思いますが、COVID-19に関することを始め、様々な病気の予防や感染拡大防止に関わることは、予想以上にやりがいに繋がっています。臨床でも行政でも、人々の健やかな生活の土台作りの一翼を担う仕事であることに変わりはなく、現在は行政目線で様々な問題に対峙する能力を培うべく、諸先輩方から学ばせて頂く毎日です。

福岡県は行政医師として非常に働きやすい職場です。仕事では相談しやすい体制があり、子育てや介護等においても、状況に応じて休暇等も取得可能です。興味を持たれたのであれば、一步踏み込んで、気軽に見学や話を聞きに来てください。具体的な仕事内容やここでは書けないお話も、お伝えできると思います。

高 倉 智 治

【京築保健福祉環境事務所 技師】

私は、臨床研修を修了した令和2年度から福岡県の行政医師として勤務しております。

昨年度は感染症係として新型コロナウイルス感染症対応のほかにも、結核検診、HIV等の特定感染症の相談など様々な業務に携わりました。

臨床の現場とは異なり健康な方と接する機会も多く、業務内容也多岐にわたるため、戸惑うこともありましたが、先輩医師や他職種の方々と相談しながら業務を進めることができ、また、予防接種計画の策定会議への参加など、臨床では得られない貴重な経験をたくさんさせていただいております。

もし、行政医師に少しでも興味がわきましたら、一度ご連絡をいただけると幸いです。